十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
〒080-8688帯広市東1条南8丁目
電話＝編集22-2121、広告23-2323、総務・販売24-2222
©十勝毎日新聞社 1999

確かな技術で信頼に応える。
めがねの水晶堂
本店/市内西3南9☎27-1234
藤丸店/市内西2南9☎27-2604
白樺店/市内西20南3☎36-2223
イトーヨーカドー帯広店/市内稲田町南8線西10☎48-2533

本命なき議長レース

変わるか市議会

新代表36人の行方と期待

◆—上—◆

帯広市議会議員三十六人の顔ぶれが二十五日決まった。砂川市政下で、二十一世紀のまちづくりを担う市議会が市民の声をどう受け止め、自らを改革しようとしているのか—。議長選、新人の台頭、チェック機能や議員定数などに焦点を絞り、"市民代表の集合体"の行方を探ってみた。

「混乱必至」早くもけん制

4、5期議員の名

「議長人事で絶対混乱は避けられないだろう」。五月一日から新市議会を迎えることになる市役所内には投票日前からこんな空気が支配していた。

「市議会第二十代の議長のいすにだれが座るのか」は庁内外で大きな関心事。

議会構成

与党会派づくり難航か

しかし、有力候補が絞り切れない"本命なきレース"が早くも予想されている。

議長は保守系会派、当選回数では四期以上から選ばれるのが慣例。そうなると六期の斉藤和郎氏、五期の水野正光氏、四期の杉野義規、鈴木孝昌、上野敏郎三氏らが対象とはなる。

議長人事で中核となっていきそうなのが新成クラブ。だが、改選前は議長選び、常任委員長改選期、市長選、議員定数削減問題での意見対立と、ことあるごとに離合集散を繰り返してきた"前科"を持つ。

離合集散繰り返す

「自民公認だけの枠組みにこだわっていると市民に目を向けた議会の流れができていかない。新しい流れがつくれる会派づくりを目指したい」（上野氏）、「もう離合集散を繰り返したくない」（鈴木氏）との声もあり、「保守本流の流れをくむ新成クラブ」「保守系無所属・中間系の清風クラブ」といった従来の枠組みを崩そうといった動きが水面下で既に始まっている。

合体模索の動きも

調整役としての手腕が期待される谷内利夫氏（五期）らを核に清風クラブで農業を主な地盤としている林義一氏（三期）、松田正志氏（三期）、佐々木勇一氏（二期）、児玉文雄氏（一期）らと合体する可能性を探る動きだ。

これに、新成クラブ内でも再度一緒に組むことに一部異論もある中で最長老の水野氏がどうかかわっていくか。一方、清風クラブの一部には「友人同士はあまり一緒の部屋にいない方が得策」（杉野氏）とけん制する声もある。

また改選前は同じ新成クラブで栗田律子氏（三期）、昨年十二月まで同クラブに所属していた石井啓裕氏（四期）、笹村二朗氏（二期）の鈴木派三議員の動向も注目される。

新人の絡みも注目

さらに市政クラブの柴田政邦氏（十期）、斉藤氏のベテラン、返り咲いた森和雄氏（六期）、一人会派の鳥越進氏（二期）、保守・中間系の六人の新人がどう絡んでくるのか。保守系会派づくりは難航が予想される。

与党会派づくりがスムーズにいかなかった場合、議長ポストに公明党の山本日出夫氏（五期）も浮上する可能性も残されており、山田栄一氏（四期）、野原一登氏（三期）を軸に副議長を狙ってくるとみられる民主とどう折り合いをつけていくかも焦点。

市議会の会派結成届は連休明けの五月六日が締め切り。臨時会は五月十七日から十九日の三日間が予定されている。

「あいつが入るなら一緒には組めない」とお互いの好き嫌いで再び離合集散を繰り返し「新しい流れづくり」をとん挫させるのか。二十一世紀を控え、市民の改革への期待も強い新市議会は、議長選びという最初の難関に直面している。（政経部＝井上猛）

2、3、4、17、18、19、22、23、24面に選挙関連記事。今夜のテレビ番組は8面に掲載

市議選開票結果（確定）

（小数点以下は案分票。カッコ内は当選回数）

①当2,740	谷内　利夫	64	無現	(5)
②当2,615	栗田　律子	56	無現	(3)
③当2,594	森　和雄	68	無元	(6)
④当2,550	山本日出夫	54	公現	(5)
⑤当2,523	荻原　昭勝	57	無新	(1)
⑥当2,492.673	黒田　弘	65	民現	(8)
⑦当2,464	後藤美智子	55	公新	(1)
⑧当2,442	稗貫　秀次	39	無新	(1)
⑨当2,419	野原　一登	55	民現	(3)
⑩当2,382	上野　敏郎	52	自現	(4)
⑪当2,349	松田　正志	63	無現	(3)
⑫当2,336	大石　清一	46	公現	(2)
⑬当2,332	児玉　文雄	55	無新	(1)
⑭当2,324.667	水野　正光	76	自現	(5)
⑮当2,316.790	渡辺　和寛	44	無新	(1)
⑯当2,295	石井　啓裕	58	無現	(4)
⑰当2,259	林　義一	69	無現	(3)
⑱当2,258	富士田雄三	62	公現	(4)
⑲当2,247	杉野　義規	63	無現	(4)
⑳当2,232	安田　正雄	50	民現	(3)
㉑当2,117	鈴木　孝昌	56	自現	(4)
㉒当2,116	笹村　二朗	65	無現	(2)
㉓当2,069	窪田　稔	51	無新	(1)
㉔当2,002	山田　栄一	61	民現	(4)
㉕当1,999	高佐　芳宏	56	無現	(2)
㉖当1,978	柴田　政邦	62	無現	(10)
㉗当1,958.646	佐々木勇一	56	無現	(2)
㉘当1,935.353	佐々木とし子	44	共新	(1)
㉙当1,894	長谷部昭夫	55	共現	(6)
㉚当1,869	村中　庸晁	53	無現	(3)
㉛当1,848	市原　秀朗	54	無新	(1)
㉜当1,774	鳥越　進	65	無現	(2)
㉝当1,741	佐藤　勝美	52	自新	(1)
㉞当1,707	小森　唯永	49	無新	(1)
㉟当1,680	稲葉　典昭	45	共現	(2)
㊱当1,666	斉藤　和郎	70	無現	(6)
㊲ 1,390	畑中　庸助	47	共新	
㊳ 1,349	野村　俊昭	49	無新	
㊴ 1,207.326	佐竹　博士	69	無現	
㊵ 1,160.332	栗山　雅光	59	無現	
㊶ 1,129.209	渡辺喜代美	41	無新	
㊷ 1,098	前田　弘樹	46	無新	
㊸ 233	嶋崎　敏雄	56	無新	

市議選結果

谷内氏トップで5選

新人は10人当選

現職の佐竹、栗山氏落選

【政経部＝井上猛】帯広市議会議員選挙は二十五日投開票され、第十七次の市議会議員が決まった。現職はトップ当選で五選を果たした谷内利夫氏ら二十五人が再選。元職の森和雄氏は八年ぶり議席に返り咲き、新人は荻原昭勝氏ら十人が初陣を飾った。現職では佐竹博士氏、栗山雅光氏が落選した。自民、公明は公認四人を完勝させたが、民主は推薦新人、共産は公認新人をそれぞれ一人落とし明暗を分けた。この結果、砂川敏文市長寄りの勢力が増え、砂川与党体制構築にメドがついたと言えそうだ。

今回の市議選は三十六の議席を現職二十七人、元職一人、新人十五人の四十三人で争った。政党別では自民、民主、公明、共産が各四人の公認候補を擁立し、残る二十七人が無所属での出馬だった。

新人では荻原氏が五位の二千五百二十三票を獲得し堂々の初陣を飾った。新川正男氏に代わって立候補した公明党の後藤美智子氏、国井勝氏後継で当選者では三十九歳と最年少の稗貫秀次氏、河瀬勝郎氏後継の児玉文雄氏、元帯広商工会議所職員の渡辺和寛氏、文化人の窪田稔氏が当選。

2,740票を獲得し、初のトップ当選が決まった26日午前零時すぎ、マサ子夫人や支持者に囲まれ、笑顔で万歳する谷内氏（中央、写真・折原徹也）

さらに共産女性候補の佐々木とし子氏、民主推薦の市原秀朗氏、新人では唯一の自民党公認候補の佐藤勝美氏、奉仕団体などの人脈を生かした小森唯永氏が滑り込んだ。

一方、新人では知名度不足が響いた畑中庸助氏、野村俊昭氏、渡辺喜代美氏、前田弘樹氏は及ばず、嶋崎敏雄氏も三度目の正直にならなかった。

現職では議長の谷内利夫氏が二千七百四十票を集めトップで五選、柴田政邦氏が十選を果たした。

中川昭一農相サイドは十八人としていた系列議員のうち二人を取りこぼしたが十六人の当選を確保。鈴木宗男内閣官房副長官サイドは三人すべてを当選させた。

民主党は九人から八人に絞り込んだが、知名度の低い新人を救い切れず民主勢力は改選前と比べ二人減となった。公明党は四人の現有勢力を維持。共産党は新人畑中氏の落選で三人を維持するにとどまった。

佐々木恵美子道議の所属会派

「民主・道民連合」に

佐々木恵美子氏

【地方部＝鈴木裕之】道議選十勝支庁区で初当選した佐々木恵美子道議(四九)の道議会での所属会派が二十六日までに「民主・道民連合」に決まった。佐々木道議は同会派入りを決めた理由について「知事周辺や会派から強い要請があった。女性道議との結束や委員会活動などを考慮した」などと話している。

無所属ながら知事与党の立場を取る佐々木道議は同会派入りの理由について、①議会運営を考慮した知事周辺や同会派からの強い要請②市民派の女性議員との結束③委員会活動などによる政策学習の必要性—などを挙げ、「支持者の皆さんとも相談しながら、慎重に検討してきた。一人会派は現実的でない。支持者には理解してもらった」と説明している。

ただ、党派については無所属の立場を堅持、「会派（民主・道民連合）には、無所属の議員もいる。党と会派は別の次元で考えている」としている。

佐々木道議は、今回の道議選で民主党を離党し無所属で初当選。道議会には現在、民主党籍を持つ議員を中心に構成される「民主・道民連合」など五会派あり、佐々木道議の去就が注目されていた。

12年前の雪辱を果たしダルマに目を入れる鹿追の吉田氏

「町民一丸で新たなまちを」 鹿追町長当選の吉田氏

二十五日午後十時前、選対本部に集まった大勢の支持者らに当確が伝えられ、ひとしきり万歳が続く中、午後十時半ごろ、待ちわびた支持者の前に夫人とともに姿を現した吉田弘志氏は、ひとしきり周囲と固い握手を交わし、花束を受けた。

田中稔選対本部長が「富士山よりも大きい応援だった」と涙ながらに勝利宣言し、清涼飲料水で乾杯。次に佐渡一男名誉会長が「あすからは敵、味方なく政争のないまちにしよう」とあいさつし、さらに会場を盛り上げた。田中本部長、佐渡名誉会長が持つダルマにVの文字を刻み万歳三唱。マイクを持った吉田さんは「これからは右も左もなく、町民一丸となって新たな町を築いていこう」と力強く協力を訴え、本部内は再び割れんばかりの拍手の渦に包まれた。

町長選「新旧交代」進む

鹿追 吉田氏　幕別 岡田氏　浦幌 村瀬氏　大樹 伏見氏

上士幌、足寄は現職当選

【地方部＝鈴木裕之】町長選は二十五日夜、六町で即日開票され、二十日の無投票当選を含め、改選八町村でまちづくりのリーダーが決まった。現職再選は上士幌・西尾敏幸氏＝三期、陸別・金沢紘一氏＝三期、足寄・香川博彦氏＝二期の三氏で、ほか五町村では新人町村長が誕生、「新旧交代」が進んだことを印象づけた。

現職対新人の一騎打ちとなった鹿追は、前町議会副議長で新人の吉田弘志氏(五九)が四選を目指した岡野友行氏(六六)に四百票近い差をつけて初当選。吉田氏は情報公開やガラス張り町政などソフト面の政策を前面に打ち出し、現町政を批判、変革を求めた町民の票を掘り起こした。岡野氏は「積み残し事業の完成のため町政の継続を」とアピールしたが、受け入れられなかった。

新人対決となった幕別は、前町教育長岡田和夫氏(五四)が九千九百票近くを獲得、元町農業委員会事務局長の佐藤正昭氏(五七)に大勝した。岡田氏は林照男町長の後継として幅広い支持基盤を構築。町職員としての行政経験と町民主役のまちづくりの理念が支持を集めた。佐藤氏は行財政改革などを訴え、草の根選挙を展開したが、支持が広がらなかった。

激戦となった上士幌は、現職西尾敏幸氏(四六)が前町社会教育課長の新人竹中貢氏(五〇)の挑戦を退け、三百三十三票差で三選を果たした。西尾氏は企業誘致などの実績や一連の町政混乱の批判に対する反論が町民の支持を得た。竹中氏は現町政批判層をまとめ、町政刷新を訴えたが一歩及ばなかった。

足寄は、全町的に支援態勢を構築した現職香川博彦氏(六四)が元町議の岡靖氏(八二)に圧倒的な差をつけ二選。新人対決の浦幌は、徳永光孝町政の後継として幅広い業界からの支持を受けた前町助役村瀬政昭氏(五五)が、前町商工会事務局長杉本勝茂氏(六二)に大差をつけ初当選。大樹も、豊富な行政経験と人脈を持つ前町助役伏見悦夫氏(五八)がフンボルト大客員教授都築利夫氏(六八)に圧勝し、初当選を飾った。

創作きもの 美匠 帯広市大通南13丁目センタービル5F ☎23-0002

町長選開票結果

幕別町	（投票率82.97％）			
当9,886	岡田　和夫	(54)	無・新	
5,323	佐藤　正昭	(57)	無・新	
上士幌町	（投票率92.98％）			
当2,316	西尾　敏幸	(46)	無・現	
1,983	竹中　貢	(50)	無・新	
鹿追町	（投票率95.56％）			
当2,349	吉田　弘志	(59)	無・新	
1,954	岡野　友行	(66)	無・現	
浦幌町	（投票率91.03％）			
当3,148	村瀬　政昭	(55)	無・新	
1,939	杉本　勝茂	(62)	無・新	
足寄町	（投票率89.09％）			
当5,034	香川　博彦	(64)	無・現	
1,406	岡　靖	(82)	無・新	
大樹町	（投票率73.44％）			
当3,592	伏見　悦夫	(58)	無・新	
326	都築　利夫	(68)	無・新	

町村議選結果

女性議員過去最高の14人

【地方部＝近藤政晴】町村議選は二十五日、無投票となった大樹、更別を除く十三町村で開票が行われ、二百三十四議席が決まった。女性が十二人当選し、大樹、更別を含めた十五町村で十四人と前回を五人上回った。トップ当選は、新人が前回と同数の六人だったほか、音更の元職・佐藤英氏(三七)＝無所属＝が二千五百三十五票を獲得、同町の最高得票数の記録を大幅に更新したのが目立った。

今回の十五町村での町村議選は、総定数二百六十四（前回比十二人減）に対し、二百八十三人（同十八人減）が立候補した。

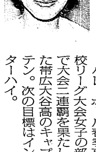
無投票当選の二町村を含め、当選者の内訳は現職百九十一人（同七人減）、全体比七二・三％。新人は六十八人（同七人減）で同二五・七％と前回より若干、現職の占める率が高くなった。元職は五人（同二人増）。党派別では共産、公明がそれぞれ一議席伸ばした。女性議員は新人、現職各七人で過去最高だった。

トップ当選の新人は、芽室の広瀬重雄、士幌の杉原憲司、鹿追の壇渕賢治、池田の坪坂誠一、浦幌の阿部優、足寄の畠田政典の六氏。音更の元職、佐藤氏はこれまでの同町の町議選得票記録（佐々木恵美子氏）を九百票上回った。

十三町村議選の平均投票率は八九・四〇％（前回十四町村平均八七・五三％）。最高は鹿追の九五・四九％（前回比〇・九ポイントアップ）、最低は音更町の七三・五三％（同五・四六ポイントダウン）だった。

おことわり
編集余録は休みます。

（バレーボール連覇）


猪股千恵子さん（14面）

バレーボール春季高校リーグ大会女子の部で大会二連覇を果たした帯広大谷高のキャプテン。次の目標はインターハイ。

本日の紙面

函館市長に前助役の井上氏〈4面〉
高校バスケ春季大会で南商4連覇〈14面〉
絵画サークル「柏」が発足〈19面〉
札内で乗用の男女が交通事故死〈23面〉

紙面への意見・要望は読者センター☎22-2121
インターネット情報アドレス
WEB TOKACHI
http://www.tokachi.co.jp/

1999年(平成11年)4月26日（月曜日）　（第3種郵便物認可）　十勝毎日新聞　大正8年創刊　（日刊）

鹿追は現職破り吉田氏

町長選　上士幌、西尾氏が3選

十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
〒080-8688帯広市東1条南8丁目
電話＝編集22-2121、広告23-2323、総務・販売24-2222
©十勝毎日新聞社 1999

選挙号外

幕別は岡田氏、新人対決制す

浦幌　村瀬氏、大樹　伏見氏、足寄　香川氏

町長選開票結果

幕別町（投票率82.97%）
- 当9,886 岡田　和夫（54）無・新
- 5,323 佐藤　正昭（57）無・新

上士幌町（投票率92.98%）
- 当2,316 西尾　敏幸（46）無・現
- 1,983 竹中　貢（50）無・新

鹿追町（投票率95.56%）
- 当2,349 吉田　弘志（59）無・新
- 1,954 岡野　友行（66）無・現

浦幌町（投票率91.03%）
- 当3,148 村瀬　政昭（55）無・新
- 1,939 杉本　勝茂（62）無・新

足寄町（投票率89.09%）
- 当5,034 香川　博彦（64）無・現
- 1,406 岡　靖（82）無・新

大樹町（投票率73.44%）
- 当3,592 伏見　悦夫（58）無・新
- 326 都築　利夫（68）無・新

【地方部＝近藤政晴】鹿追、上士幌、幕別、足寄、浦幌、大樹の六町長選は二十五日夜、即日開票された。現職対新人の一騎打ちとなった鹿追は、前町議会副議長で新人の吉田弘志氏（さ）が四選を目指した現職の岡野友行氏（ゃ）に四百票近くの差をつけ初当選した。接戦が予想された上士幌は、現職・西尾敏幸氏（ま）が前町社会教育課長で新人の竹中貢氏（ユ）の挑戦を退け、三百十三票差で三選を果たした。幕別は前町教育長の新人・岡田和夫氏（ま）が九千九百票近くを獲得、元町農業委員会事務局長の佐藤昭氏（さ）を破った。一方、足寄は現職の香川博彦氏（ゃ）が元町議の岡靖氏（ハ）に圧倒的な差で再選。新人同士の戦いとなった浦幌は前町助役の村瀬政昭氏（さ）が前町商工会事務局長の杉本勝茂氏（ニ）に、大樹は前町助役の伏見悦夫氏（さ）がフンボルト大各員教授の都築利夫氏（ハ）にそれぞれ大差をつけ、初陣を飾った。

現職を破って初当選を決め、笑顔で支援者の握手にこたえる吉田氏（中央）

高らかに万歳で勝利を祝う岡田和夫氏（左から2人目）とキヨ子夫人（同3人目）と支持者

選対横の祭壇テントで小泉洋一本部長（左）、澄恵夫人（右）と笑林する西尾氏（中央）

12年越しの雪辱に胸張る

鹿追・吉田氏

午後十時半、耳をつんざくような吉田コールのなか、鹿追町長当選の吉田弘志氏が選挙事務所に顔を出すと、二百人近い支持者の中には感極まって泣き出す人など、喜びの声援であふれた。ひとしきり支持者と握手しタルマでスサイ

崩れそうな心体支えられた

午後十時半、岡田和夫氏はキヨ子夫人や家族とともに札内の選対へ。待っていた支持者の「おめでとう」の声に迎えられた。最終確認作業があるとい

町民が輝けるまちづくりを

上士幌・西尾氏

午後七時七分、開票所の選対幹部から「当確」の無線連絡が入ると、選対と横

浦幌町長に当選し万歳で喜びを表す村瀬政昭氏（右から2人目）、左は徳永芳孝町長

満知子夫人、左は徳永芳孝町長

大差で大樹町初の女性町長に初当選し、支持者に握手で祝福される伏見悦夫氏（中央）

支持者と握手を交わし、喜びを分かち合う、足寄町長に再選された香川氏（中央）

解説　しこり解消が急務

鹿追、上士幌　対照的な選択

現職対新人の一騎打ちの構図で臨んだ鹿追町長選は、世代の変わり目のなかで町民が冷静な選択を行った。

鹿追・吉田氏の初当選は、今選挙の既成にある「新旧交代」の象徴ともいえる。改選1期目で現職再選は上士幌・西尾氏と三期目の金澤氏、二期目の香川氏、大樹・伏見氏の三氏。幕別、浦幌、大樹で新人町長が誕生し、更別も新人出馬が現職を引退に追い込んだ。

これに対し、上士幌の西尾氏は、一連の町政混乱に対する不信感や批判の変化を求める選挙だったが、時代の流れについていけなかった。

吉田氏はガラス張りの町政、町民との一体となった町づくりなど新しい現町政を批判、変革を求めた町民の票を掘り起こした。岡野氏は、ハード面の整備や幅広い道民とのパイプを強調、継続を求めたが、受け入れられなかった。岡野氏に目立ったスキャンダルはなかったが、町民の距離が広がり、時代の変化を求める選挙だったといえる。

また、今後一方で当選した新町村長は、自治体の構造改革が迫られる中、地方分権の意義に行政手法を、住民に対し明確に示すことが求められる。（高橋　幸彦）

町村議選の開票結果

（得票の小数点以下は案分票）

（町村名横の数字は左が定数、右が立候補数）

音更（26—28）

投票率＝73.53%

当2535	佐藤	英洋	無新
当1113.5	小針	誠治	60 無元
当1052	永谷	芳弘	61 公現
937	後藤	良勝	52 無現
936	中橋	信之	51 無現
911	竹中	敏明	48 無現
910	中山	実利	61 無新
891	小野	信次	50 無現
891	平	良枝	63 無現
871	宮原	博義	50 無現
833	大場	勇吉	52 無現
818	津島	勇夫	62 無現
770	中村	二三代	64 無現
754.849	小針	豊	52 無現
738	平野	民雄	58 無現
710.457	山本	儀春	63 無現
708	高玉	紀男	58 無新
656	高田	博明	51 無現
606	坂本	武三	60 共新
592	岡田	健男	49 共現
591	山下	洋一	49 無現
579	山川	秀正	46 無現
576	栗原	隆	57 無現
562	河田	稔	59 無現
549.542	山本	忠春	63 無現
441	宮村	哲	59 無新
170	肯山	幸作	70 無新
30	木村	時乃亮	44 無新

芽室（22—25）

投票率＝83.84%

当717.494	広瀬	直雄	41 無新
当633.614	高橋	仁美	46 無新
当578	川口	勝英	55 無新
当565		奈良	國司56 無新
当554		柴田	正博45 無新
当543.385	高橋	源	50 無現
当509		岩倉	信保50 無現
当507		安道	71 無現
当501		村上	晴一郎52 無現
当500		高道	敏隆53 無現
当483		尾藤	精志63 無現
当464		一見	一68 無現
当464		優幸	56 無現
当413		伊藤	俊美57 無現
当412		平野	勝一96 無現
当401		瓜田	義行55 無現
当395		時良	長利50 無現
当391		唯野	義勝56 無現
当380.505		隆源	俊幸50 無現
当372		常道	稔66 無現
当348		中島	義夫60 無現
当296		奥藤	忠雄68 無現
当287		勝森	豊一郎65 無新
278		西尾	一則51 無現
276		加藤	榮美67 無現

幕別（26—27）

投票率＝82.96%

当846		貝森	拓司59 無現
当771		友子	47 無現
当721		幹雄	50 無現
当708		助川	順一49 無現
当690		乾	邦広49 無現
664		大上	光一49 無新
662		吉川	稔57 無新
660		阿部	確71 公現
657.682		伊東	昭雄64 無現
636		本保	征喜54 無現
612.399		前川	敏春49 無現
605		網綱	太郎59 無現
593		坂本	伸49 無現
589		大野	和政52 無現
568.317		伊藤	一男73 無現
当565		義雄	60 無現
当543		守	48 無現
当512		正裕	64 無現
当504		正治	65 無現
464		幸昭	57 無現
438		信	63 無現
436		昭治	88 無現
396		昭二	71 無現
344.600		正	69 無現
344		年雄	46 無現
266		弘哉	56 無現

士幌（16—17）

投票率＝94.40%

当447		嘉司	63 無新
当419		寛一	41 無新
当331		吉信	51 無新
当330		米明	52 無現
当306		力也	62 無現
当293		忠雄	54 無現
当282		光一	67 無現
277		幸一	50 無現
270		修司	61 無現
264		博	57 無現
256		興治	63 無現
237		雄	62 共現
229		隆男	53 無現
221		悦子	61 無現
181			無現

上士幌（16—18）

投票率＝92.83%

当400		和子	45 無現
当370		久子	65 無現
当298		輝夫	61 無現
286		健一	55 無新
279		勝雄	64 無現
266		信一	50 無現
263		卓蔵	57 無現
253		憲太郎	62 無現
245		義雄	60 無現
233		守	48 無現
231		正裕	64 無現
225		信	63 無現
209		幸昭	57 無現
209		寛	69 無現
173		哲也	88 無現
127		昭二	71 無現
103		徳幸	65 無現

鹿追（16—17）

投票率＝95.49%

当360		賢治	57 無新
当338		明	61 無現
当306		龍夫	70 無元
当290		誠一	63 無現
当274		新一	63 無現
269		耕次	52 共現
253		健治	68 無現
239		定男	73 無現
227		昇	60 無現
226		稔	53 無現
217		昌廣	63 無現
198		士雄	59 無現
189		久雄	61 無現
184		早雄	62 無現
		博	64 無現
		実	67 無現

新得（18—21）

投票率＝91.41%

当356		幸一	54 無現
当346		寛	66 無現
当346		康雄	48 無現
当344		鉱造	62 無現
当335		誠男	52 無現
333		正博	54 無現
318		武孝	65 無現
310		一	63 無現
288		麗子	52 無現
263		芳幸	50 無現
		義雄	60 無新
		守	48 無新
		正裕	64 無新
		正治	65 無新
		幸昭	57 無新
		信	63 無新
		哲也	88 無新
		昭二	71 無新
		徳幸	65 無新
		友幸	66 無現
		健子	44 無現
		正昭	65 無現
		幸昭	57 無現
		寛	69 無現
		哲也	88 無現
		昭二	71 無現
		徳幸	65 無現
		賢治	57 無現
		明	61 無現
		龍夫	70 無元
		誠一	63 無現
		新一	63 無現
		耕次	52 共現
		健治	68 無現
		定男	73 無現
		昇	60 無現
		稔	53 無現
		昌廣	63 無現
		士雄	59 無現
		久雄	61 無現
		早雄	62 無現
		博	64 無現
		実	67 無現

中札内（12—13）

投票率＝92.39%

当296		三上	清志55 無新
当280		勝博	57 無新
当249		和清	53 無現
当248		和雄	49 無新
247		良弘	57 無新
242		弘蔵	62 無新
227		文則	59 無現
当250		藤井	友幸66 無現
当243		川見	久雄67 無現
当238		金澤	学46 無新
当230		為男	64 無現
当221		吉川	盛一65 無新
180		渡邊	雅文45 無新
165		無澤	厳67 無新
133		能登	裕59 共新
124		芳賀	耕一43 無新
98		青柳	茂行52 共新

池田（18—19）

投票率＝87.45%

当457		坪坂	誠一58 無新
当389		泉田	賢一57 無現
当384		丸山	健64 無現
当380		細川	隆昭50 無現
当378.538		中島	嘉彦44 無現
当374		多田	厳66 無現
当370		永田	進64 無現
369		鎌苗	明61 無現
354		三坂	一茂41 無現
327.463		中島	一男68 無現
320		井上	浩68 無現
319		鈴木	榮春67 無現
299		清水	輝利68 無現
291		遠田	豊壽49 共現
284		田井	秀吉49 無新
284		宮内	邦夫64 無現
283		北	豊士郎52 無現
237		内海	弘61 無現
219		伊藤	龍男65 無現

豊頃（14—15）

投票率＝93.77%

当292		大谷	友則50 無現
当279		小野木	英毅51 無現
当268		永吉	一70 無現
261		長谷川	静夫55 無現
259		武野	和男71 無現
257		宝田	恒夫62 無現
241		岡戸	栄一63 無現
238		遠藤	重夫62 無現
218		中村	亀男57 無現
212		津久井	精一51 無現
179		杉山	勝男72 無現
178		扇	美68 無現
159		赤澤	靜一61 無現
158		関所	恒克61 共現
135		桑井	美三郎67 無新
当210		道見	盛雄67 無現
当203		藤	建子44 無現
当170		明河喜	代志68 無現
当155		西村	和正62 無現
133		川上勝之助	73 無現
94		生天目	博子56 無新

浦幌（18—19）

投票率＝91.03%

当356		阿部	優51 無新
当353		八木	忠宏51 無新
当352		岡田	愛啓50 無新
当343		立蔵	功61 無新
当327		岸田	武雄64 無現
当309		島田	辰彦47 共現
当298		水沢	一広50 無現
当271		長嶺	晃70 無現
当249		田村	寛邦52 無現
当247		山田	道夫58 無現
当246		大坂	昌人63 無現
当245		下坂	郎子61 無現
当233		河内	富喜48 無新
当230		坂口	清志61 無現
当228		木南	雅隆64 無現
当222		森	啓之介62 無現
当220		高橋	利一51 無現
当215		松井	稔68 無現
200		野村	俊博48 無現

足寄（18—19）

投票率＝89.00%

当573		島田	政典58 無新
当477		石田	富男74 無新
当440		矢野和	恵子46 無新
当410		佐々木	定夫65 公現
381		伊藤	一55 無新
当347		吉田	敏男53 無現
当345		菊地	二一將62 無現
当341		谷口	二郎61 無現
当340.709		高橋	勇71 無現
当328		黒沢	一男60 共新
当312		平野	武雄60 無現
当309		加藤	晴敏61 無現
当302.290		高橋	幸雄54 無現
当301		蔦足	賢70 無現
当295		正木	忠夫68 無現
当285		川上	隆一58 無現
当280		三原	幸雄68 無現
当277		大久保	優58 無新
267		熊澤	芳廣52 無現

陸別（14—15）

投票率＝94.05%

当312		小松	八郎71 無現
当250		河瀬	栄美49 無新
当232.711		明倉	昭雄53 無現
当228		正垣	郁雄64 無現
当227		久保	省三66 無現
当196		山本	厚一56 無現
当175		宮川	寛63 無新
当164		河本	哲士58 無現
161		今村	友宏74 無現
当136.126		村松	武蔵73 無現
当119.873		村松	正敏50 無現
118		早坂	勝巳55 無現
94.288		坂倉	昭夫65 無現
92		斉藤	隆三68 無新
48		北村	國男83 無現